

### モジュラー形電磁比例レデュースバルブ

30 ℓ/min  
0.3~14MPa

### 特 長

使い易さに優れたモジュラーバルブの思想を電磁比例減圧弁に採用したもので、油圧システム内の圧力を入力電流に比例して減圧制御します。

旋盤のワークチャック圧力の連続比例制御など、工作機械をはじめとする小形油圧システムに最適です。また、リリース機能を備えていますので、圧力

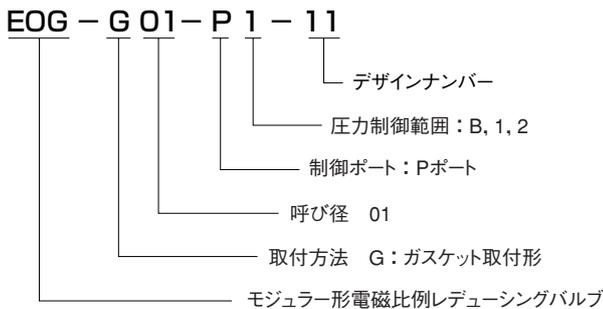
応答性能が優れています。

### 仕 様

項 目	形 式	EOG-G01-P*-11
最高使用圧力 MPa {kgf/cm <sup>2</sup> }		25 {255}
最大流量 ℓ/min		30
圧力制御範囲 MPa {kgf/cm <sup>2</sup> }		B: 0.3~ 2.5 {3.1~ 25.5} 1: 0.4~ 7 {4 ~ 71 } 2: 0.6~14 {6 ~143 }
Tポート許容背圧 MPa {kgf/cm <sup>2</sup> }		2.5 {25.5}以下
定格電流 mA		850
コイル抵抗 Ω		20 (20℃)
ヒステリシス %		3以下(注1)
質 量 kg		3.6

注) 弊社製専用増幅器を使用した場合の値です。(ディザ付き)

### 形 式 説 明



### ●取扱い

#### ①空気抜き

良好な圧力制御を行なうため、試運転時にエアバントを緩めて空気抜きを充分に行ない、ソレノイド内に作動油を充填させてください。

#### ②手動圧力調整ねじ

初期調整または電氣的故障などで弁に入力電流がない場合に、手動調整ねじを右に回すことにより、弁の圧力を昇圧することができます。なお通常は必ず手動調整ねじを左に完全に戻し、ロックナットを締めておいてください。

#### ③最低制御圧力

内部ドレン方式ですので、最低制御圧力はTポート背圧の影響を受けます。

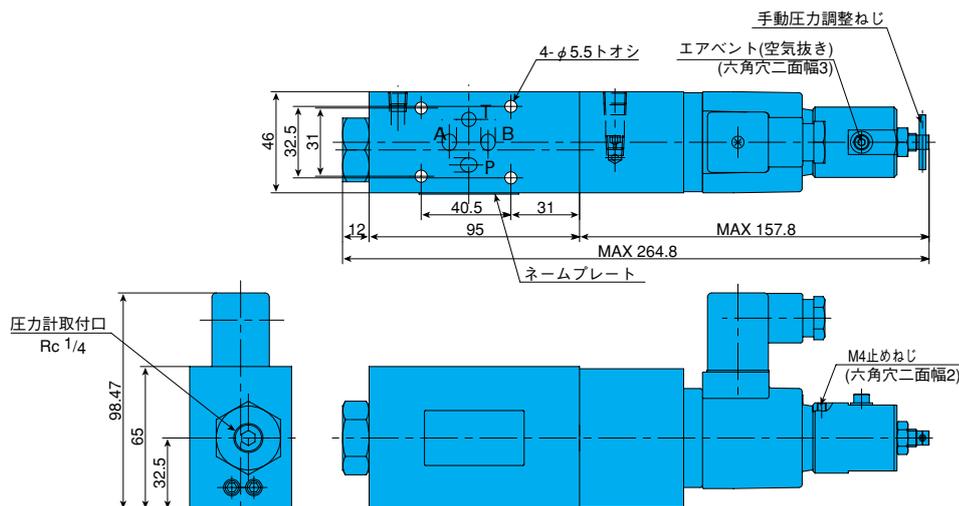
#### ④負荷容量

負荷容量(弁OUT側容量)は0.5 ℓ以上にしてください。

#### ⑤作動油は油温-20~70℃粘度12~400mm<sup>2</sup>/sの両条件を満足する範囲で使用ください。推奨粘度範囲は15~60mm<sup>2</sup>/sです。

### 取 付 寸 法 図

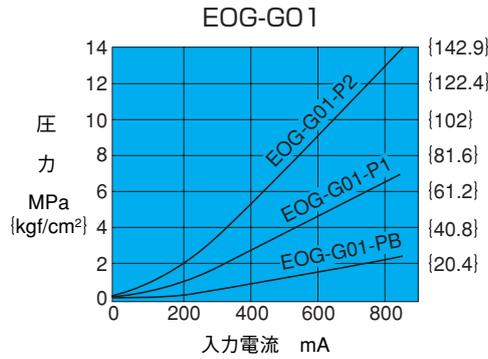
EOG-G01-P\*-11



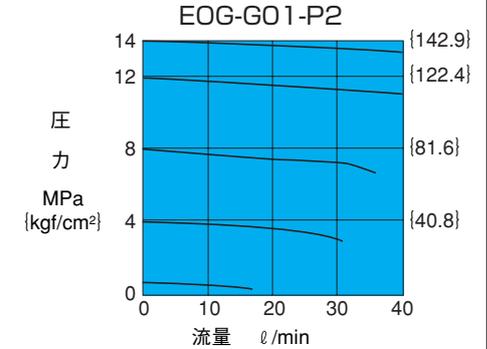
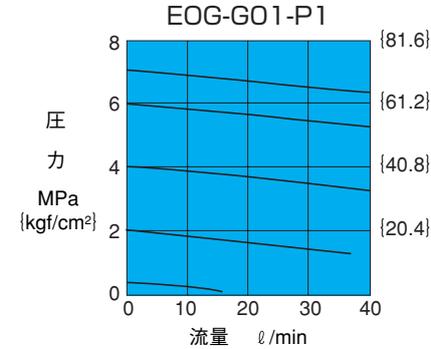
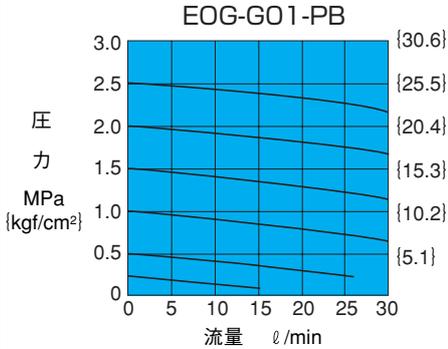
# 性能曲線

作動油動粘度 32mm<sup>2</sup>/s

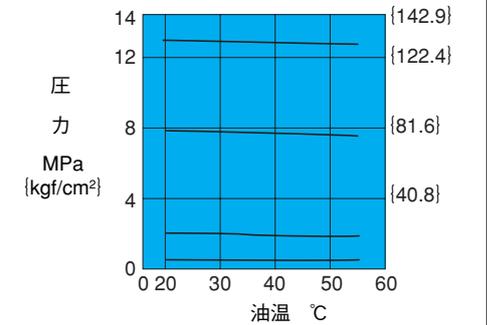
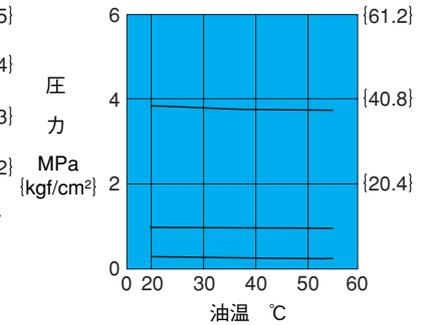
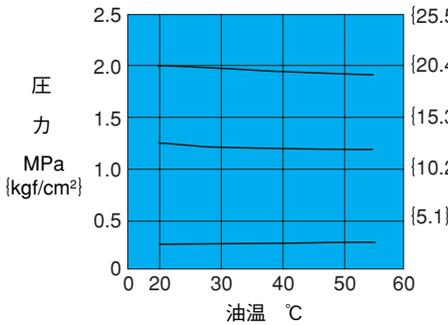
入力電流-圧力特性



流量-圧力特性

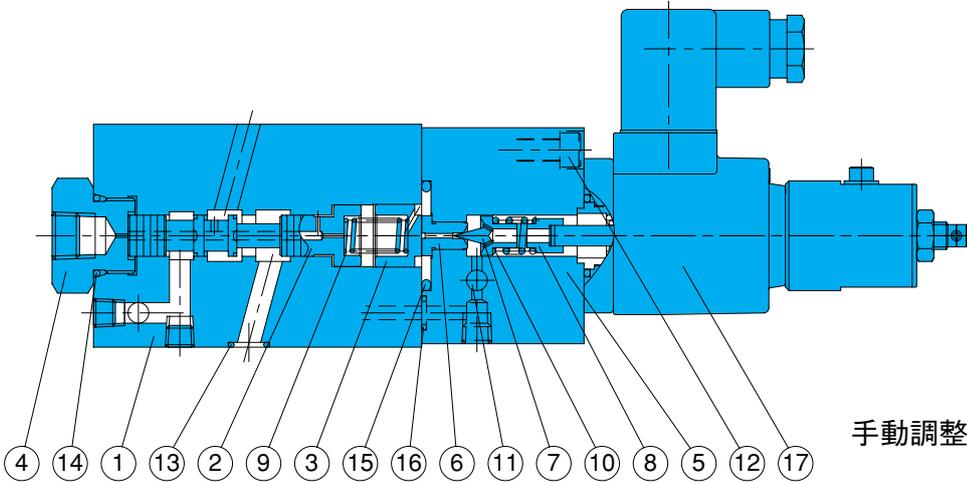


油温特性



# 断面構造図

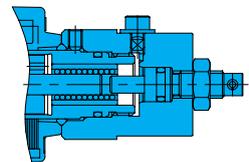
EOG-G01-P\*-11



品番	部品名称
1	ボディ
2	スプール
3	リテーナ
4	プラグ
5	カバー
6	シート
7	ボベット
8	リテーナ
9	スプリング
10	スプリング
11	チョーク
12	スクリュウ
13	Oリング
14	Oリング
15	Oリング
16	Oリング
17	比例ソレノイド

注) コイル形式JD64-D2

手動調整部



シール部品一覧表 (キット形式 JBS-G01)

品番	部品名称	部品番号	個数
13	Oリング	1B-P9	4
14	Oリング	1B-P20	1
15	Oリング	1B-P26	1
16	Oリング	1B-P7	1

注) Oリング1B-\*\*はJIS B2401-1B-\*\*を示す